

福島県少年自然の家

第1節 概要

生がい教育の観点から、少年に対する家庭教育、学校教育及び社会教育の三者の連携を密にして、少年の全人的な教育を実現する意味で新しく構想された少年期の社会教育施設が少年自然の家である。学校や家庭では期待しにくい経験をさせ、心身ともにたくましい少年の育成を図ることを目的とする。

当所は昭和47年10月1日に開所し、昭和49年度は第3年次に当り、利用者も飛躍的に増加し、かつ、その教育的効果が広く認められるに至った。

昭和49年度の重点目標と成果は、次のとおりである。

(1) 環境の整備保全

野外宿泊施設、野外炊飯施設、キャンプ場及び遊歩道を整備したので利用人員が増加し、野営による生活訓練の成果が得られ、また、自然観察、野外スポーツ等野外活動の分野が広められた。

(2) 研修内容の充実

事前打ち合わせの徹底を図り、充実した研修計画により研修活動が円滑に行われ、研修計画を高めることができた。

(3) 主催事業の開催

所の設立の趣旨を正しく理解させるため、入所の機会のない者や、遠隔地の者にも研修の機会を与えるため、主催事業を実施した。県下各地より多数の参加を見た。登山を通じて自然の恩恵、偉大さに触れさせ、また、共同宿泊生活を体験させることにより、家族及び仲間との望ましい人間関係の醸成に役立つことができた。

(4) 文部省委嘱研究の推進

研究の第2年次目として、研究協力校（5校）の研修活動を素材に、「小学校児童の集団宿泊指導のあり方」というテーマで、発達段階や研修目的、宿泊期間、班の規模等に応じた指導の方法を実証的に研究した。

(6) 広報活動の強化

- 所報の発行による所の運営、利用及び活動状況についてPRした
- 報道機関（新聞、テレビ）との協力により活動状況が県内に報道され、一般の認識が高められた。
- 主催事業の実施により、参加者による波及的効果が得られた。

第2節 施設・設備の概況

1 位置

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山54

2 敷地面積

330,000㎡（約10万坪）

3 建物

(1) 本館

鉄筋コンクリート2階一部平屋、延べ面積 1,578.67㎡
166人収容 昭和47年3月31日しゅん工

(2) 体育館

鉄骨平家建て543 15㎡ 昭和47年9月25日しゅん工

(3) プール

25m×15m（7コース）・水深 0.9m～1.1m循環ろ過装置、更衣室（男・女）、水洗便所、消毒槽、洗眼所、足洗い場、シャワー完備、昭和48年9月5日しゅん工

(4) 倉庫

ブロック造平屋建 延べ90㎡ 昭和49年2月15日しゅん工

(5) 公舎

所長公舎 木造平屋建て 72.6㎡
一般公舎 木造平屋建て 2とう 各とう52.8㎡
昭和49年2月15日しゅん工

4 野外活動施設

(1) 野営場

① 面積

12,000㎡ 平坦な自然松林の中の空地に芝植栽

② 建物

ア、野外活動センター

鉄筋コンクリート造平屋建て 91.80㎡ 管理・集会・倉庫の機能を有する。

イ、ロッジ

木造トタンぶき平屋建て板張 7とう 各とう
34.02㎡

ウ、野外炊事場

鉄筋コンクリート造り、2とう 各とう 54.00㎡
水道・調理台・炉完備

エ、野外便所

鉄筋コンクリート造り 2とう 各とう 23 87㎡
水洗式 男女別

③ その他主な施設

国旗等掲揚塔（集いの広場 3本、野営場 3本、体育館 2本）、営火炉（1基）、屋外消火せん（3期）、焼却炉（2基）

④ 収容人員

ロッジ7とう分 84人（各とう12人）

⑤ しゅん工

昭和49年2月15日

(2) 運動場

本館前の一段下った位置に12,000㎡の運動場がある。

(3) 自然遊歩道並びに観察コース

オリエンテーリング、フィールドワークや自然観察も可能なように、全山くまなく遊歩道を整備し、中丸山東南端